



第5回新ひむかジョギング都井岬大会

平成元年2月19日『第5回新ひむかジョギング都井岬大会』が開かれました。コースは、日本陸上競技連盟公認の都井岬ロードレースコース。地元のジョギング愛好者や小・中学生、高校生など約1,400人が参加しました。遠くは大阪府から、最高齢は76歳の参加があり、日ごろの健脚を競いました。～平成元年2月発行・広報くしまから～



旧都井岬観光ホテル前を通過する選手たち



My Town Topics

まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

有権者としての思い発表



1月20日、総合保健福祉センターで『第6回わけもんの主張南那珂支会予選会』が開かれました。会には南那珂2市から4人が参加。選挙や政治に対し、感じていることなどを事例を挙げながら発表しました。厳正な審査の結果、優秀賞には徳井直輝さん（日南市）と戸高翔太さん（串間市）の2人が輝きました。優秀賞の2人は、2月開催予定の県大会に出場する予定です。



INTERVIEW
頑張ります

串間市役所
戸高翔太さん

張りつめていた緊張が今、ようやくとけたことでホッとしています。優秀賞の受賞はとてうれしいです。発表は、感じていた思いをそのまま表現しました。南那珂支会の代表として、来月の県大会に向け、しっかり練習したいと思います。

Scene 5

先進地に学ぶ資源の活用



1月19日、串間市文化会館で『グリーンブルーツーリズム農家漁師民泊の取り組み講演会』が開かれました（主催串間市観光協会）。NPO法人五ヶ瀬自然学校理事長杉田英治さん、のべおか感動体験案内人連絡協議会会長高橋勝栄さん、キャンプ権代代表河野良人さんが自然を生かした独自の取り組みを講演。参加者は先進事例に学ぼうと真剣に聴き入っていました。



INTERVIEW
意識の醸成を

都井岬観光案内所
清水真由美さん

小さな町の大きな頑張りを感じました。小規模でもこんな取り組みができるのだから、串間市ももっと何かできるのではないかと思います。串間市でもそういった意識が広まるといいですね。このような講演会をもっと開催してほしいです。

Scene 4

健脚を競い新成人を祝福



1月8日、新成人を祝福しようと『成人祝賀駅伝競走大会』が開催されました。スタートの陸上競技場には一般・中学生・女子の3部門に計32チームが集結。全長19.6kmのコース8区間で健脚を競いました。ゴールとなった串間市文化会館では晴れ着姿の新成人でにぎわう中、福島高校野球部が1時間5分57秒の記録で堂々、1位のゴールテープを切りました。



INTERVIEW
来年は優勝を

航空自衛隊高畑山Aチーム
田中真さん

チームは12月から練習を始めました。優勝できる自信があったのですが、結果は総合2位でした。昨年、今年と2年連続で出走し、成績も2年連続の総合2位に終わりました。非常に残念です。来年は3度目の正直で、必ず優勝したいですね。

Scene 3

交通事故のない串間市へ



1月6日、串間市役所で交通安全新春の集いがありました。市では平成22年8月23日から『交通死亡事故ゼロ継続500日作戦』を展開。1月4日に見事目標を達成しました。式では新成人を代表し、JAはまゆう串間支所谷口美紀さんが交通事故のない安全な串間市実現のための誓いを宣言しました。出席者の皆さんは、交通安全への意識を新たにしていました。



INTERVIEW
自覚を新たに

JAはまゆう串間支所
谷口美紀さん

『交通安全宣言』をさせていただきました。このような機会を与えていただき、串間市民として、また成人者としての自覚を新たにしたいと思っております。『交通死亡事故ゼロ』が今後も続くよう、協力していきたいと思っています。

Scene 2

記憶力・俊敏性を競います



1月5日、旧吉松家住宅で『くしま学カルタ大会』がありました。大会には、市内小中高校から代表の児童生徒32人が参加。瞬発力と記憶力を競いました。用いたカルタの句・挿絵は市内の児童生徒が作成。串間の自然や文化、著名な人物などが彩り豊かに描かれています。今回で第4回を数える同大会。見事優勝に輝いたのは、市木中学校2年山下龍太郎くんでした。



INTERVIEW
4度目の正直

市木中学校2年
山下龍太郎くん

4年連続、4回目の大会参加です。これまでに2度、3位という結果に終わっていました。今年こそは優勝したいと思っていましたので、ようやく実現できてうれしいです。決勝戦の対戦相手（大東小・矢野叶恵さん）は手強く、接戦での勝利でした。

Scene 1

新春の青空に水のアーチ



1月5日、蔵元橋下流河川敷で新春恒例の消防出初式がありました。この日は年明け1番の冷え込みを記録。各消防団員は寒さに負けじと、堂々とした入場を見せました。式では人員や服装などの点検後、福島川に向け一斉に放水。春空に水のアーチを描きました。また、功労者表彰や感謝状授与のほか南さくら保育園園児が和太鼓の演奏を披露。彩りを添えました。



INTERVIEW
新団員に期待

まとい協会会長
国府光朗さん

消防団活動は、今年で43年を迎えます。消防団長も8年間務めていました。昔に比べると、団員数も減りましたね。地域の皆さんが安心して暮らせる環境のためにも、団員の数が増えてくれるといいですね。特に若い人に入団してほしいです。